

	採用医薬品名	授乳婦	備考
▼抗生素質	ケフラールカプセル 250mg	授乳を中止すること nochd基準；◎	
	サワシリン錠 250mg	授乳を避けること (* 1) nochd基準；◎	*アモリン、パセトシン添付文書には授乳に関する記載なし
	セフゾンカプセル 100mg	◎ (乳汁移行なし)	
	トミロン錠 100mg	◎ (乳汁移行なし)	
	バナン錠 100mg	授乳をさせないこと	
	フロモックス錠 100mg	◎ (乳汁移行なし)	
	マイクトMS錠 100mg	◎ (乳汁移行なし)	
	エリスロシン錠 200mg	授乳を避けること nochd基準；◎	
	クラリス錠 200mg	授乳を避けること (* 2) nochd基準；◎	
	ジスロマック錠 250mg	授乳を中止すること nochd基準；◎	
	ファロム錠 200mg	授乳をさけること	
	ホスミシン錠 500mg	nochd基準；◎	
	ビブラマイシン錠 100mg	授乳を中止すること nochd基準；◎	
	ミノマイシン錠 50mg	授乳を中止すること	
	ダラシン錠 150mg	授乳を避けること nochd基準；◎	
	アベロックス錠 400mg	授乳を避けること nochd基準；◎	禁忌； 妊婦、小児
	オゼックス錠 150mg	授乳を中止すること	禁忌； 妊婦 小児用細粒あり；
	クラビット錠 500mg	授乳を避けること nochd基準；◎	禁忌； 妊婦、小児
	グレースビット錠 50mg	授乳を避けること	禁忌； 妊婦、小児
	ジェニナック錠 200mg	授乳を中止すること	禁忌； 妊婦、小児
	シプロキサン錠 100mg	授乳を避けること nochd基準；◎	禁忌； 妊婦、小児
▼帯状疱疹薬	ゾビラックス錠 200mg	授乳を避けること nochd基準；◎	顆粒あり；
	バルトレックス錠 500mg	慎重に行うこと nochd基準；◎	
▼感冒薬	PL配合顆粒	長期連用は避けること	警告；アセトミノフェン併用×、禁忌；緑内障 *鎮静作用に忍容性なしなら投与中止
	TJ-001 葛根湯エキス顆粒	◎ (ダイオウ含有なし)	
▼咳止め薬	アスペリン錠 10mg	—	DS、Syあり；0歳～
	カフコデN配合錠	✗ (* 3)	警告；アセトミノフェン併用×
	メジコン錠 15mg	—	Syあり；3ヶ月～
	キョウニン水「マルイシ」	✗	MAX 1日 6ml 小児；×
	プロチンシロップ 3.3%	✗ (エタノール含有のため)	
	TJ-029 ツムラ麦門湯エキス顆粒	◎ (ダイオウ含有なし)	

▼抗アレルギー薬	アレグラ錠 30mg、60mg	授乳を避ける nochd基準；◎	30mg；7～11歳 60mg；12歳～ DSあり；6ヶ月～
	アレジオン錠 10mg、20mg	授乳を中止	DSあり；3歳～
	アレロック錠 2.5mg、5mg	授乳を中止	5mg；7歳～ 顆粒あり；2歳～
	クラリチン錠 10mg クラリチンレディタブ錠 10mg	授乳を避ける nochd基準；◎	10mg；7歳～ DSあり；3歳～
	ザイザイル錠 5mg	授乳を避ける	MAX；10mg Syあり；6ヶ月～
	ジルテック錠 5mg、10mg	授乳を避ける	5mg；7～14歳 DSあり；2歳～
	タリオン錠 10mg	授乳を避ける	10mg；7歳～
	デザレックス 5mg	授乳を避ける	5mg；12歳～
	ビラノア錠 20mg	授乳を避ける	
	セレスタミン配合錠	授乳を避ける	禁忌； 緑内障、前立腺肥大等 Syあり；
	TJ-019 ツムラ小青龍湯エキス顆粒	◎ (ダイオウ含有なし)	
	TJ-002 ツムラ葛根湯加川芎辛夷エキス顆粒	◎ (ダイオウ含有なし)	
	オノンカプセル 112.5mg	—	DSあり；12kg～
	シングレア錠 10mg	慎重に投与(*4)	細粒あり；1歳～
	フルナーゼ点鼻液 50μg 56噴霧	—	MAX；8噴霧 小児用あり
	リボスチン点鼻液 0.025mg 112噴霧	授乳を中止	

▼気管支拡張薬	テオドール錠 100mg	授乳を避ける nochd基準；◎	Sy, DSあり；6ヶ月～* *日本小児アレルギー学会
	ホクナリンテープ 2mg	授乳を避ける	2mg；9歳～ DSあり；6ヶ月～
	メプチンエアー 10μg 100回	吸入後、24時間授乳さける	MAX；1日4回(8吸入)

▼痰切り薬	ムコソルバン錠 15mg ムコソルバンLカプセル 45mg	授乳を避ける	DS, Syあり；1歳～
	ムコダイン錠 500mg	—	DS, Syあり；1歳～

▼消炎酵素薬	レフトーゼ錠 (30)	—	禁忌； 卵アレルギー Syあり；0歳～
--------	-------------	---	------------------------

▼解熱・鎮痛薬	カロナール錠 200	nochd基準；◎	警告；PL、カコテ× MAX；1500mg 細粒、Syあり；幼児適応あり
	バファリン配合錠 A330mg	授乳を避ける	
	ペオン錠 80	授乳を避ける	
	ボルタレン錠 25mg	授乳を避ける nochd基準；◎	禁忌； 妊婦 サポあり；1歳～
	ロキソニン錠 60mg	授乳を中止	MAX；180mg
	セレコック錠 100mg	授乳を避ける	長期投与不可
	モービック錠 10mg	授乳を中止 nochd基準；◎	MAX；15mg

▼含嗽剤	イソジンガーグル液 7%	—	
	含嗽用ハチアズレ顆粒	—	

▼整腸剤	ビオフェルミン錠剤	◎ (乳酸菌のため)	
	ビオスリー配合錠 配合散	◎ (酪酸菌のため)	
	ラックビー錠	◎ (ビフィズス菌のため)	

▼緩下剤	(搬)酸化マグネシウム	nochd基準 ; ◎	
	プルゼニド錠 12mg	nochd基準 ; ◎	MAX: 4錠
	アローゼン顆粒	授乳を避ける nochd基準 ; ◎	

▼止瀉薬	アドソルビン原末	◎ (吸収されないため)	
	ロペミンカプセル	授乳を避ける nochd基準 ; ◎	小児用細粒あり ;

▼消化管用薬	ナウゼリン (OD) 錠 10mg	授乳を避ける nochd基準 ; ◎	禁忌 ; 妊婦 DS, 細粒あり ;
	プリンペラン錠 5mg	授乳を避ける	慎重投与 ; 小児 Sy, 細粒あり ;
	アシノン錠 150mg	授乳をさせない nochd基準 ; ◎	
	ガスター錠 20mg	授乳をさせない nochd基準 ; ◎	
	ガスマチン錠 5mg 散 1%	授乳を中止	
	セレキノン錠 100mg	授乳を中止	
	ストロカイン錠 5mg		
	コロネル錠 500mg	◎ (吸収されないため)	
	ブスコパン錠 10mg		禁忌 ; 緑内障、前立腺肥大
	コランチル配合顆粒	有益性の投与	

▼抗めまい	メリスロン錠 6mg		
	アデホスコーウ顆粒 10%		

▼偏頭痛	レルパックス錠 20mg	授乳を避ける nochd基準 ; ◎	投与後24時間で0.02%乳汁移行あり
	イミグラン錠 50mg	授乳を避ける nochd基準 ; ◎	
	ゾーミックRM錠 2.5mg	授乳を避ける	

▼抗インフルエンザ	タミフルカプセル 7.5	授乳を避ける	米国疾病予防局では妊婦・授乳婦への投与推奨 (*5)
	リレンザ	授乳を避ける	
	イナビル吸入粉末剤 20mg	授乳を避ける	
	TJ-027 ツムラ麻黄湯エキス顆粒	◎ (ダイオウ含有なし)	

(\*)1 サワシリン

授乳婦6名に500mg単回経口投与後の乳汁中移行は投与後2~6時間後でtrace~0.6 μg/mLであった

(\*)2 クラリス

産褥期感染症の女性 (500mg6日間) の母乳中のクラリスロマイシン及び (代謝物) の濃度は、それぞれ血中濃度の約25%、約75%であった

(\*)3 カフコデN配合錠

類似化合物 (コデイン) で、授乳中の乳児でモルヒネ中毒が生じたとの報告がある。ジフェンヒドラミンは、動物実験 (ラット) で乳汁中に移行するとの報告がある。

(\*)4 シングレア

(ラット) 100又は200 mg/kgを反復経口投与し、最終投与後4時間における乳汁中未変化体濃度は、血漿中濃度の0.32又は0.37倍で、胎児に対して毒性はなかった

(\*)5 タミフル、  
リレンザ

新型のウイルスに感染したか、感染の疑いがある場合には、症状が出てから48時間以内に抗ウイルス薬の投与を始め、5日間続けるべきだとしています。さらに、感染の疑いがある人と接した場合にも、10日間予防的に服用るべきだとしています。(米国疾病予防局)

漢方薬

ダイオウ含有でなければ、授乳婦への投与可能と考える。ダイオウは下痢を引き起こす可能性あり

